

# 人とまちが一つになるにぎわいの空間

～なんば駅前広場と安全安心なまちづくりの物語～



なんば安全安心にぎわいのまちづくり協議会※会長  
戎橋筋商店街 理事

菊地正吾

※なんば安全安心にぎわいのまちづくり協議会

なんば駅周辺を安全安心でにぎわいあるまちづくりを進めるために、  
地元町会、商店会および企業により構成される団体

→なんば広場の整備推進の中心的役割

- ・ 大阪都市軸の南北軸の拠点の一角
- ・ 関西国際空港直結のターミナル駅（南海電鉄）
- ・ 商業・文化・観光機能が集積する「繁華街ミナミ」



## アクセス

海外：関西国際空港から 約38分  
日本：新大阪駅（新幹線）から 約15分

# 難波エリア一帯に広がる人中心の空間づくり



とんぼりリバーウォーク

ポンテ広場

御堂筋の歩道

なんばパークス

道頓堀

一帯に広がる地下空間

商店街(アーケード)

300m

## なんばエリアの地位の低下の懸念（平成十数年頃）

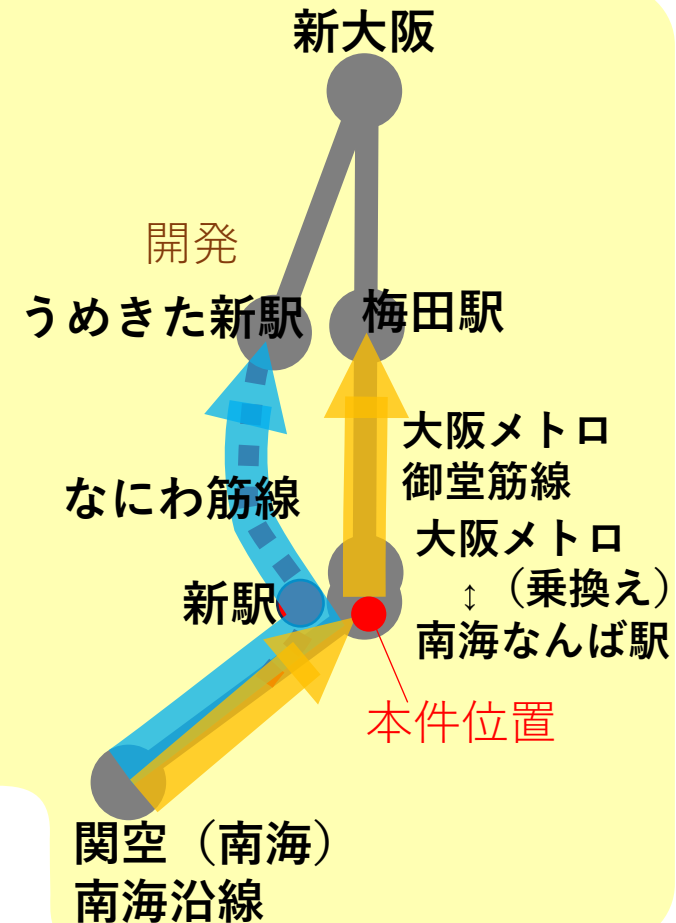
- ・ 「歩道が狭い」「歩きにくい」「こわい」という印象
- ・ 大阪駅周辺の魅力的な大規模開発(うめきたなど)の進展
- ・ なにわ筋線※の整備（なんばを訪れる人の減少）

### ※なにわ筋線計画の懸念

南海難波駅の南側で分岐、うめきた新駅に直通する都市鉄道（事業中）

これまで…関空 → 難波（下車・乗り換え） → 梅田

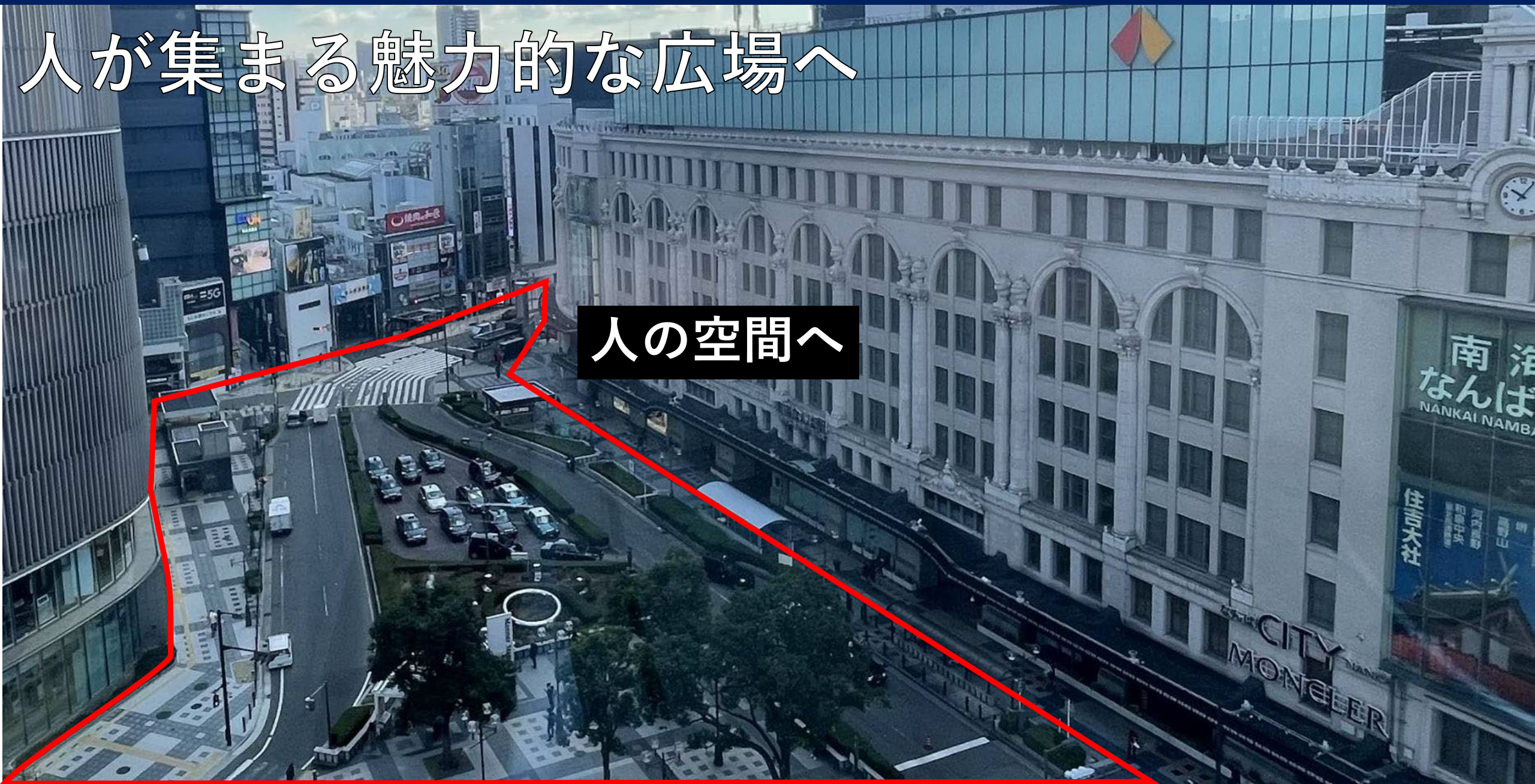
これから…関空 → 難波（停車） → 梅田



難波駅前の車中心の空間を  
人が憩い賑わう場所へ再整備し  
なんばエリアの新しいシンボル空間へ

人が集まる魅力的な広場へ

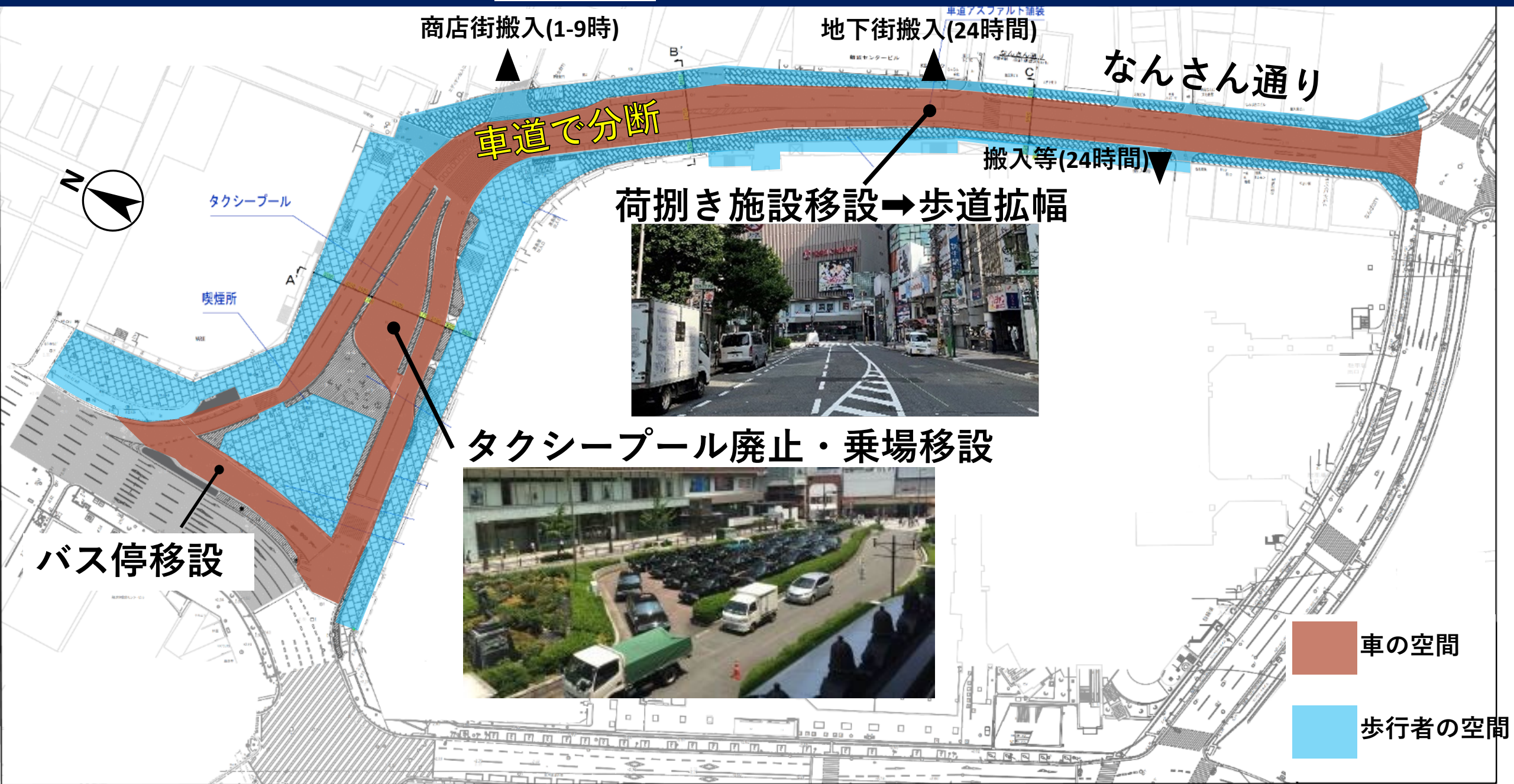
人の空間へ



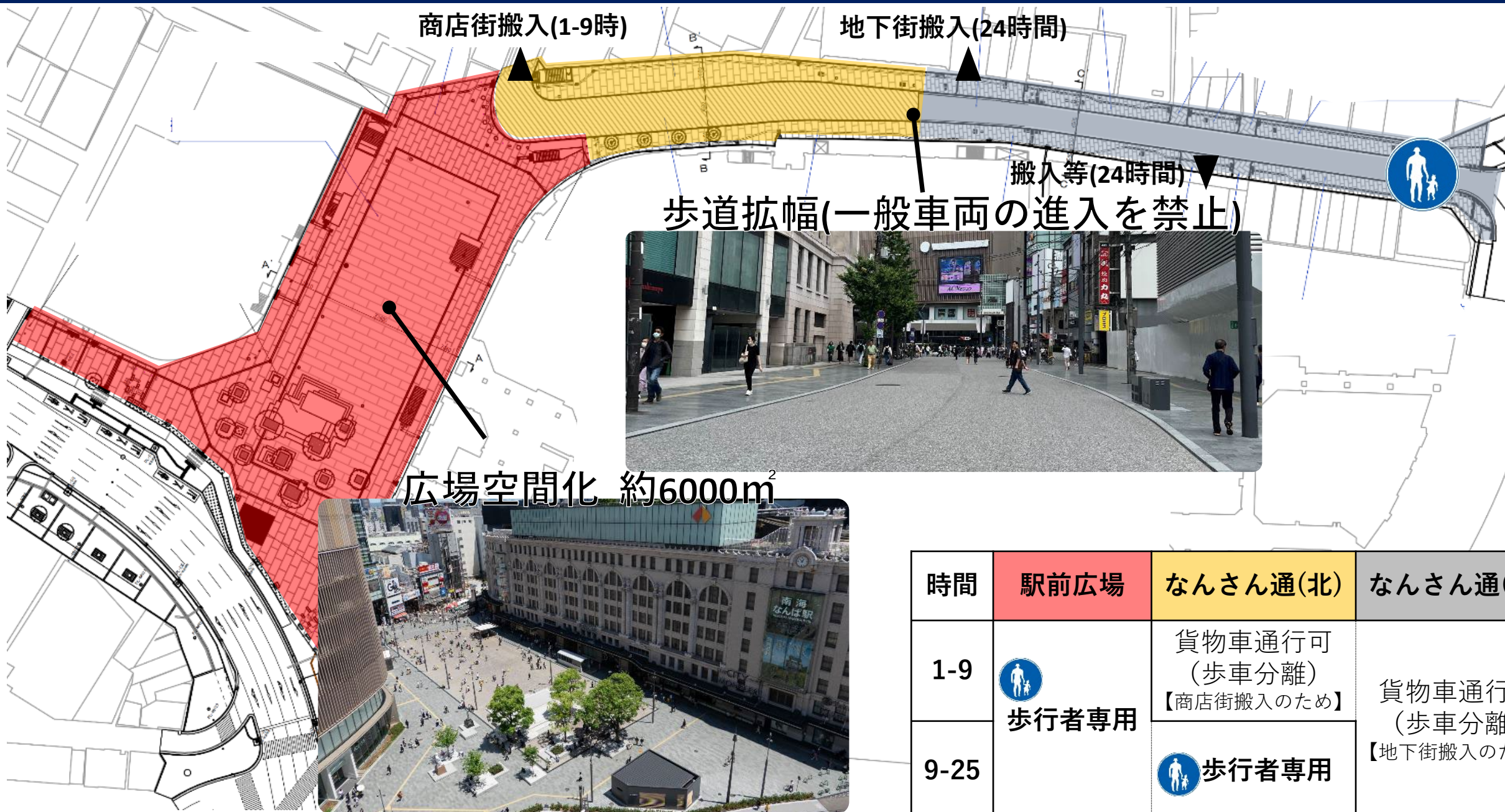
# なんば広場の整備の前後比較



2008年 (H20)		「南海難波駅前広場環境整備協議会」発足
2011年 (H23)		「なんば安全安心にぎわいのまちづくり協議会」(以下「地元協議会」)発足
2015年 (H27)		地元協議会から大阪市に要請書提出
2016年 (H28)		社会実験①(空間の利活用)
2017年 (H29)		社会実験②(交通影響(通行止め、タクシー・バス・荷捌きの再配置))
2022年 (R4)		「なんば駅周辺における空間再編推進事業整備プラン」の策定 工事着手「なんば駅周辺における空間再編推進事業」(大阪市)
2023年 (R5)	3月	歩行者利便増進道路として指定
	11月	「なんば広場(仮称)」先行オープン → 試行的利活用の実施 (なんば広場マネジメント法人設立準備委員会(以下「準備委員会」))
2024年 (R6)	12月	歩行者利便増進道路の利便増進誘導区域(特例区域)に指定
2025年 (R7)	3月	全体完成(なんば広場・なんさん通り) 歩行者利便増進施設等に係る公募開始
2025年 (R7)	9月	準備委員会が占用者となる
2026年 (R8)	4月	準備委員会が管理・運営を実施中



車の空間  
歩行者の空間



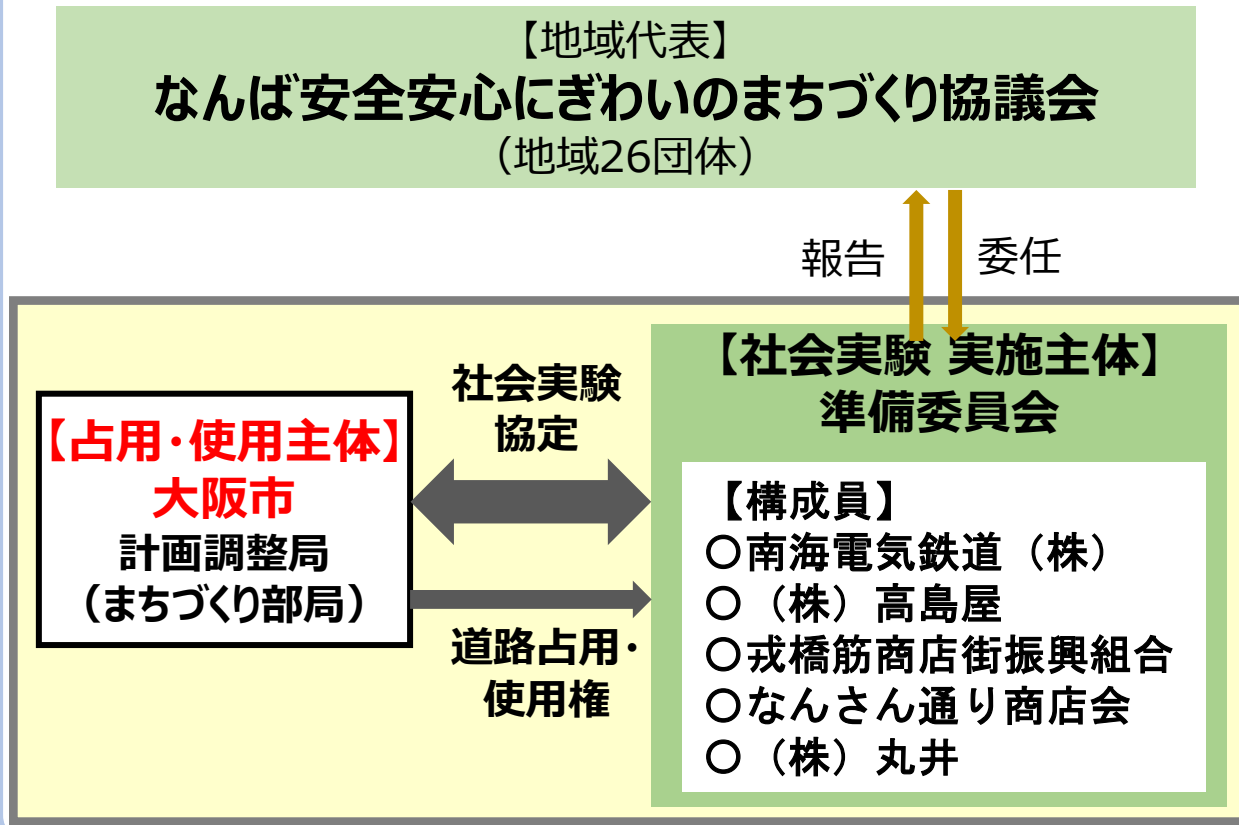
時間	駅前広場	なんさん通(北)	なんさん通(南)
1-9	 歩行者専用	貨物車通行可 (歩車分離) 【商店街搬入のため】	貨物車通行可 (歩車分離) 【地下街搬入のため】
9-25		 歩行者専用	

- 世界をひきつける観光拠点として、上質で居心地の良い空間を創出
- より歩行者にとって安全安心でにぎわいのある空間に再編



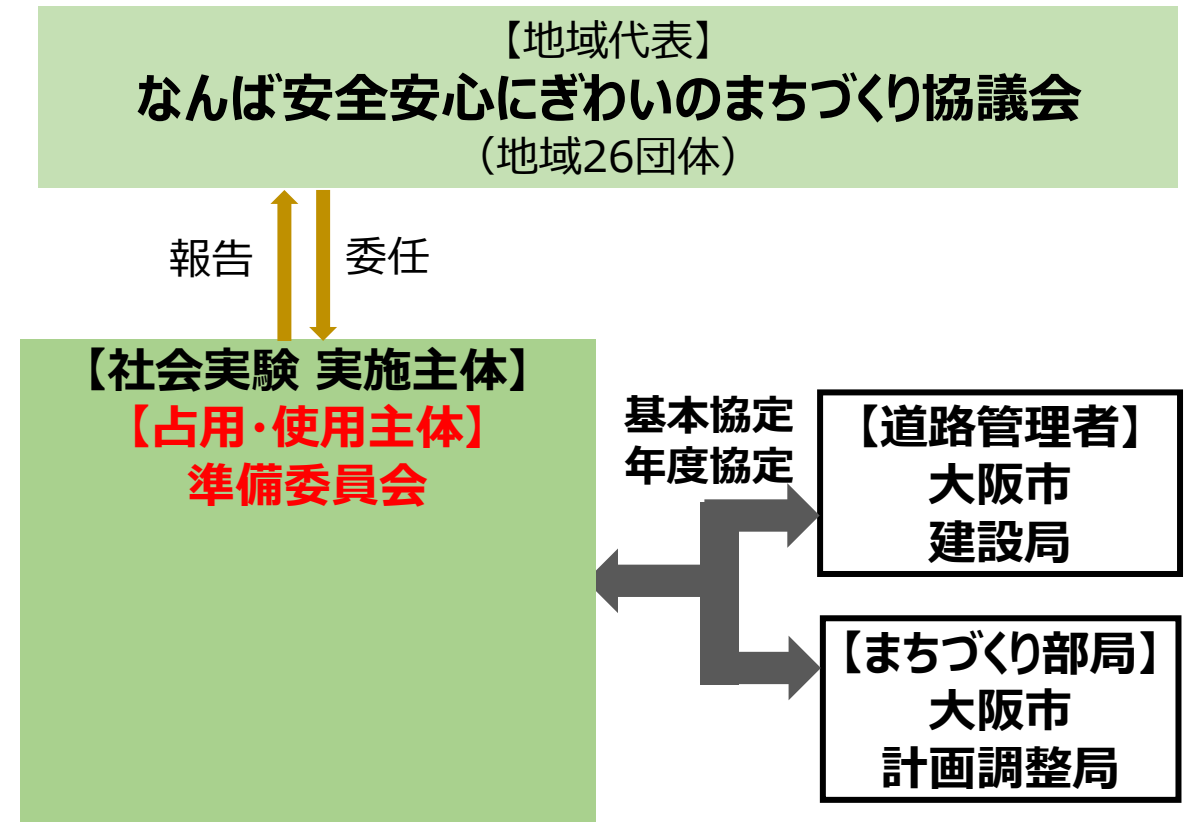
## 広場完成後の試行的な運用 (R4.11~R7.8)

準備委員会が大阪市との協定により管理運営を実施



## 利便増進誘導区域指定・公募後 (R7.9~)

準備委員会が管理運営を実施



### 【なんば安全安心にぎわいのまちづくり協議会 構成員】

- 町会 精華連合振興町会・難波三丁目東町会・難波三丁目西町会・難波振興町会・河原連合振興町会・難波千日前西町会・難波千日前東町会・日本橋連合振興町会・難波中振興町会・難波東振興町会
- 商店会 戎橋筋商店街振興組合・千日前道具屋筋商店街振興組合・でんでんタウン協栄会・なんさん通り商店会・なんばCITY会・難波センター街商店街振興組合・なんば南海通り商店会・なんなんタウン商店街振興組合・日本橋筋商店街振興組合・日本橋筋西通り商店会
- 企業 大阪地下街(株)・関電不動産開発(株)・(株)高島屋・東宝(株)・南海電気鉄道(株)・(株)丸井

日常の  
滞在空間



## 60回以上の開催実績

飲料メーカー、自動車展示、トークショー、クリスマスの演出  
サウジアラビア・ポーランドの文化・観光PR・・・



### 【なんば広場でのイベント開催メリット】

- ・ターミナルである難波駅前
- ・各商店街のハブとなる位置

▶ イベント来場者数の確保が可能

## 【現状・課題】

**目標：広場関連収入で運営費を賄う**

警備費の確保（事故等の抑止に有効＝必要経費）

人件費の負担（事務局等） 現状...代表企業（南海電鉄）に依存

## 【課題に対して】

イベント受け入れ増（収入拡大）

広告収入（デジタルサイネージ等）

コスト縮減（運営の効率化）

## 【整理すべき事項】

運営管理体制の整理

法人化の検討

街との適切な関わり方の整理

**収益拡大×コスト縮減で収支を改善し、  
同時に法人化を見据えて体制を整える**

空間整備により、滞在時間の伸びは明らか

今後…

- ✓ より日常の滞在空間の質の向上
- ✓ 魅力的なイベントの誘致
- ✓ なんばエリアのブランド価値向上
- ✓ 広告などと合わせ収入を確保
- ✓ 組織の法人化…持続的な管理運営の実現
- ✓ 地元ならではの強みを生かした着実な取組み

この取組みを、

商店街が集まるまち なんばの活性化につなげていきたい

ご清聴ありがとうございました

